

志小安全・防災だより



H31.1.28 No.40
安全・防災担当：早坂 潤

警察業務への多大な貢献ということで志小に感謝状！

校長先生が朝会終了後に、子どもたちに見せて下さっているのが、南三陸警察署よりいただいた、感謝状です。志津川小学校は、今年度、南三陸警察署と協働で「志小アルカス」を結成し、子どもたちが中心となり、非行防止、防犯意識等を高め、よりよい地域環境づくりを目指し活動してきました。活動は主に計画委員会が中心となりましたが、志津川小学校の子どもたち全員が、「志小アルカス」の一員です。校長先生から、自分で正しいと思うことは学校の中だけでなく、自分たちの地域にも発信していくことが大事であること、今、全校で取り組んでいる「あったか言葉」の木に「あったか言葉」の実をたくさん付けることができるように、みんなで努力していくことの大切さを教えていただきました。



第4回気仙沼市防災フォーラムが開催されました！

22日に、気仙沼市の中央公民館で防災フォーラムが開催され、階上中、条南中、気仙沼高校の生徒が、各学校での防災教育の取組を発表しました。発表後に、東北大学准教授の佐藤翔輔先生より指導講評をいただきましたが、その中で、言われていたことは、各学校の取組として共通しているところとして、実際に自分の足で歩いて地域のすばらしさに気づき、地域の人たちとのコミュニケーションを大事にしているところです。また、地域の人たちとコミュニケーションをした後に（インタビューやアンケートに答えていただいた後に）、さらに学校に地域の人たちを招いて、自分たちの取組を紹介したり、新聞等を作成して地域に広めたりし、さらに地域とのつながりを深めていこうと努力しているところも学校と地域の連携につながっているとのことでした。これからの防災・安全教育を推進させるためには、学校と地域の連携が重要であることは言われてきましたが、地域に合った無理なく長続きする連携の仕方を常に考えていかなければならないと感じました。



ワークショップでは、防災意識をさらに高めるために「学校でできること」、「地域でできること」を中高生と一緒に考え、互いの考えを付箋に書き出し、グループで話し合いを行いました。